

**授業概要**

昔から続いてきた年中行事や年中行事にまつわる伝統芸能、文化的な習慣は、日本人の自然や美に対する感性とともに情操を育んできたといえる。

そこでこの授業では日本の四季折々の行事、子どもの成長や人生の節目を祝う行事とその意味を知り、伝承のわらべうたや昔話などにも、適宜、題材を求めながら、家庭教育・幼児教育における情操教育の方法について考えてみたい。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション
第2回	日本人の季節感：和風月名と二十四節気
第3回	季節感と暦：五節句、陰陽五行説、十干と十二支
第4回	四月（卯月）：花見、灌仏会
第5回	五月（皐月）：八十八夜、端午の節句
第6回	六月（水無月）：田植え、梅雨
第7回	七月（文月）：七夕
第8回	八月（葉月）：お盆
第9回	九月（長月）：お月見、お彼岸
第10回	十月（神無月）：十三夜、紅葉狩り
第11回	十一月（霜月）：収穫祭、七五三
第12回	十二月（師走）：冬至、年越し
第13回	一月（睦月）：お正月、七草がゆ
第14回	二月（如月）：節分
第15回	三月（弥生）：桃の節句
第16回	筆記試験

**到達目標**

日本人の感性を育んできたさまざまな文化的習慣を知ることによって、日々の生活により季節感と心の豊かさを感じられるようになる。保育者をめざす学生は、日本の四季折々の行事や、子どもの成長や人生の節目を祝う行事を知って、自らの保育観や子ども観を深め、幼稚園・保育所における行事や日々の生活に役立てられるようにする。

**履修上の注意**

出席を重視します（毎回、テーマに関するビデオを視聴するため）。

配布資料をファイルしてください。履修者の状況に応じて計画を変更することもあります。

**予習復習**

予習課題（テキストの該当ページを読んで授業に臨む）復習課題（ワークシート発展課題に取り組み）を行ってください。

**評価方法**

授業への主体的参加30%、授業の課題40%、筆記試験30%

**テキスト**

『日本のしきたりがまるごとわかる本』 普遊舎ムック